

# 第14回 日本聾史学会 in 東京

12月17日（土） 18日（日）

去る17日（土）東京都渋谷区リフレッシュ氷川にて第14回日本聾史学会 in 東京が開催されました。18日（日）聾史探訪ツアーでは、築地・東京盲啞学校発祥の地「記念碑」や江戸東京博物館ほかを巡りました。東京大会の参加者200名、探訪ツアーの参加者90名、長野県の参加者14名でした。

私は、日本聾史学会役員として大会準備もあり、16日（金）から18日（日）まで3日間、東京へ出かけました。

尚、東京大会開催のスナップ写真は、下記の通りご覧ください。



渋谷駅に、「忠犬ハチ公」銅像が建っている



16日（金）東京大会準備のための会議



17日（土）午前11時～ 定期総会の開催



午後1時～ 東京大会（開会式）桜井強氏の会長挨拶



倉方厚子氏の記念講演、演題「ペル会館を想う」



研究レポート発表（発表者：佐藤聖氏）





井崎さん那須さん二人芝居「吉川金造の生涯」



閉会式、新役員紹介（内田は広報部長就任）



前会長桜井氏から新会長（3代）當間正敏氏へ



日本聾史学会名誉会長・伊藤政雄先生の挨拶



来賓祝辞・東京都聴覚障害者連盟宮本一郎氏



東京大会に参加者 200 名が集まった！



東京大会終了後、交流会を行い、皆さんと久しぶりの再会で、楽しい一夜を過ごした！





18日（日）探訪ツアーで、旧新橋停車場 → 東京盲啞学校発祥の地「記念碑」



天気に恵まれて、両国駅より“スカイツリー”の眺め！



「江戸東京博物館にて記念写真」 17日・18日の2日間、参加者の皆さんお疲れ様でした！

※ 第14回日本聾史学会東京大会開催の報告については、「聾史会報」や「東京大会報告書」などに載せますので、是非ご協力お願い致します。

(2011/12/23 日本聾史学会広報部長 内田博幸)